

株式会社ジェイコムイースト 相模原・大和局

2013 年度 放送番組審議会 概要

2013 年度の放送番組審議会は、2014 年 3 月 19 日(水)に J:COM 相模原・大和局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

相澤 博 様 稲葉 貞明 様 鈴木 克則 様
武内 英雄 様 田所 昌訓 様 水谷 正隆 様

ご欠席

榎田 達雄 様 大成 敦夫 様

事業者側から局の現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(高齢者向けの番組制作を)

委員 コミュニティチャンネルの資料は、全体的に非常に良くできていた。

ボランティアとして老人施設を慰問しているが、お年寄りに対しての番組があると良い。また老人施設がたくさんあるが、季節ごとにイベントがいろいろ行われているので、その取材を是非お願いしたい。お年寄りにこれまでの歴史を語っていただく番組もあると良い。

(地域密着番組の強化による視聴拡大)

委員 地域に特化した形で情報提供できる J:COM チャンネルは、大事だと思う。地域情報であっても、地上波局の大手メディアに画一化されている。地域限定のコミュニティチャンネルに対する価値観が高まっているので、部活紹介や高校野球など地元密着型の番組制作にもっと取り組めば、より多くのエリアの人に見てもらえるのではないかと思う。

(スマホ・アプリの展開)

委員 きめ細かな情報発信でいうと、新しい取り組みの中で説明のあった、スマホ・アプリの今後の展開はどうか。

事業者 各地に定点カメラを置いて、それをスマホで見られるような準備を神奈川県下の各ケーブルテレビ局でしている。場所は限定されるが、災害時に活用できれば。

また、「暮らしのナビゲーション」アプリで、お店の検索だけでなく、防災についても充実させていければと考えている。CATV 局の定点カメラは以前では、桜の開花情報を扱っていたが、これを進化させたい。

委員 そういった防災面での情報発信はどうか。

事業者 相模原市とも大和市とも防災協定を結んでおり、密に連携は取れており都度発信している。

(相模原市政 60 周年イベント)

委員 相模原市は、今年、市制60周年記念で、S.C.相模原と町田ゼルビアの公式戦の際に、試合以外に様々なイベントできればと考えている。今度完成する人工芝の第二競技場も使いながら、出来れば1万人の市民を集めたいと考えており、公式戦の前後で少年サッカーの試合を開催するなどの企画を検討している。また体育の日には、子供を中心に 6 千人規模の動員を目指し、多様なスポーツを楽しめるイベントを行う予定。会場では、各競技の協会がゲートボール、ローラースキー、ターゲット、乗馬などの体験スポーツを予定している。今後も J:COM には、こうした情報を提供するので、ぜひ取材をお願いしたい。

こうしたイベントは、相模原には、新しい文化でもあり、J:COM を通して広めて欲しい。

事業者 スポーツイベントは、今後も積極的に紹介をしていきたいと考えている。早めにイベント予定をもらえれば取材を行っていく。

(クロスカントリー・コースの整備と各種スポーツイベント)

委員 昨年、麻溝公園で小中学生対象にしたクロスカントリー大会が開催され、大いに盛り上がった。今後、麻溝競技場に併設するクロスカントリーのコースを着工する予定。

この他、麻溝競技場では、関東大学ラグビーの対抗戦、リーグ戦の試合なども開催される。また、今年は、高校生の関東陸上大会も行われる予定である。麻溝競技場の年間スケジュールは、近々で固まり次第、お知らせする。

(地域イベントの情報発信)

委員 自治会としては、テレビ向けという事ではあまりないが、地域イベントの集客は、自治会の役割であり、そこに取材が来てくれると有難い。今までテレビ・メディアを使うことがなく情報の出し方が分からないので、テレビ放送に耐えうるような情報があるのか、今後、教えていただきたい。

また、視聴者は、自分がテレビに出演すると、やはり喜んでいただける。そういう点でも、面

白いイベントを J:COM にアピールしていきたい。「タウンニュース」や「FM さがみ」からは情報を欲しいとよく言われるが、J:COM チャンネルにも今後は情報を出していきたい。

事業者 タウンニュースに提供している情報で十分である。『じもっティ』には、タウンニュース編集長が出演し、取り組みやイベントを紹介していただいている。これからは、連動していければいい。

以上